

景気動向調査報告書

平成30年6月末時点における景気動向調査を実施しましたが、その概要は次のとおりでしたので報告いたします。

1 調査対象

項目 業種	対象企業数 (社)	回答企業数 (社)	回答率 (%)	前回回答率 (%)
製造業	80	34	42.5	38.8
建設業	40	16	40.0	32.5
小売業	70	27	38.6	32.9
宿泊施設業	40	12	30.0	30.0
合計	230	89	38.7	34.3

※回答状況は、調査対象企業230社の内89社で、回答率は前回と比較すると34.3%から4.4%増加し、38.7%となった。

2 調査方法 B・S・I 方式による。

<B・S・I方式>

景気全般について、「上昇傾向」「下降傾向」の度合いを数字に置き換えて指標化したもの。景気（の先行き）に対する経営者の観測をまとめて指標化したもので、前年同期（又は3ヶ月先を見据えて）に比較し増加（良い）と答えた企業数から減少（悪い）と答えた企業数を差し引き、全体（増加+ほぼ同じ+減少=企業総数）で除して得た数字がB・S・Iとなる。

例：

増加	同じ	減少	B S I
A	B	C	D
30	8	20	17

$$B \cdot S \cdot I (D) = \frac{A - C}{A + B + C}$$

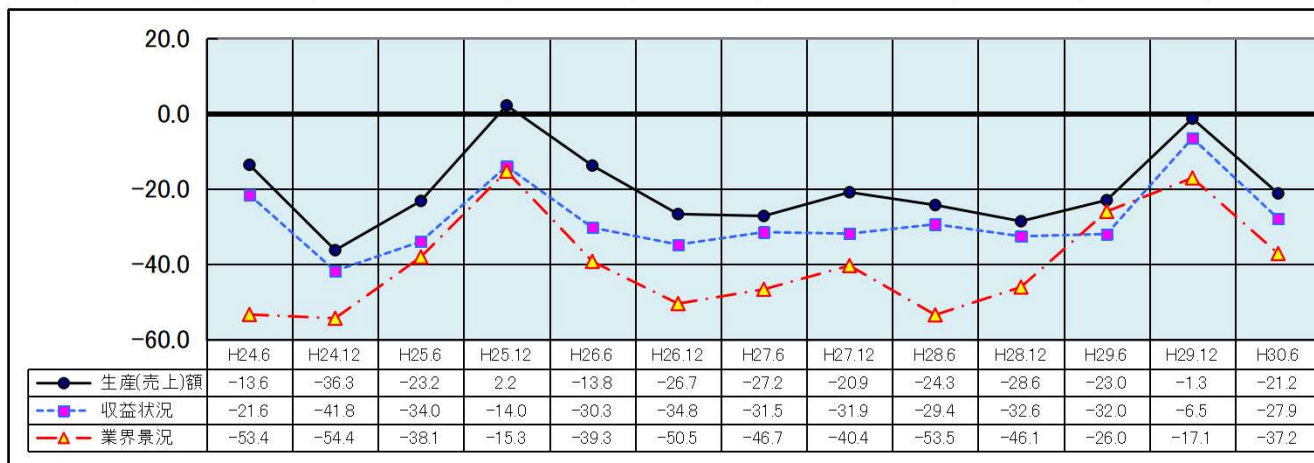
B・S・I	40.1以上	40.0～5.1	5.0～-5.0	-5.0～-40.0	-40.1以下
判断	上昇	やや上昇	横ばい	やや下降	下降

3 集計の結果、特徴的なことは次の通りであります。

【総合】

< 配布 230企業 回収89企業 回答率 38.7% >

生産・売上額	今回調査	前回調査	前年6月	収益状況	今回調査	前回調査	前年6月	業界景況	今回調査	前回調査	前年6月
	-21.2	-1.3	-23.0		-27.9	-6.5	-32.0		-37.2	-17.1	-26.0
	比較	-19.9	1.8		比較	-21.4	4.1		比較	-20.1	-11.2

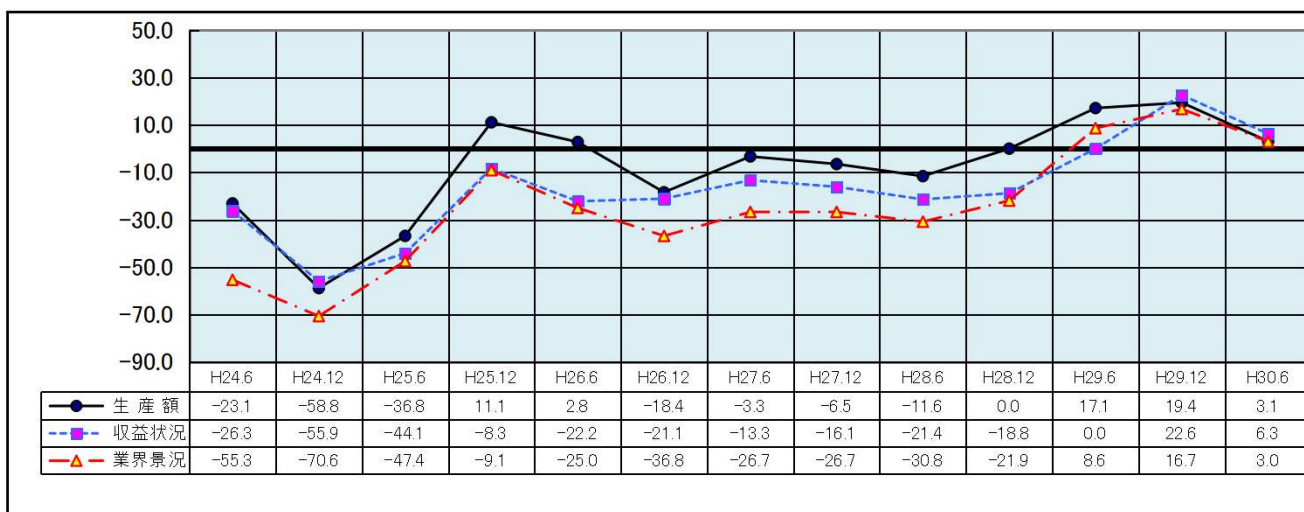


東北管内及び県内の経済情勢は、緩やかに回復しているとされている。県内の景況判断BSIは全産業で上昇に転じており、先行きは全産業で上昇超で推移する見通しとなっているが、本市においては生産（売上）額・収益状況・業界景況ともに前回調査を下回っており、依然として景気は足踏み状態にある。

【製造業】

< 配布 80企業 回収 34企業 回答率 42.5% >

生産額	今回調査	前回調査	前年6月	収益状況	今回調査	前回調査	前年6月	業界景況	今回調査	前回調査	前年6月
	3.1	19.4	17.1		6.3	22.6	0.0		3.0	16.7	8.6
	比較	-16.3	-14.0		比較	-16.3	6.3		比較	-13.7	-5.6

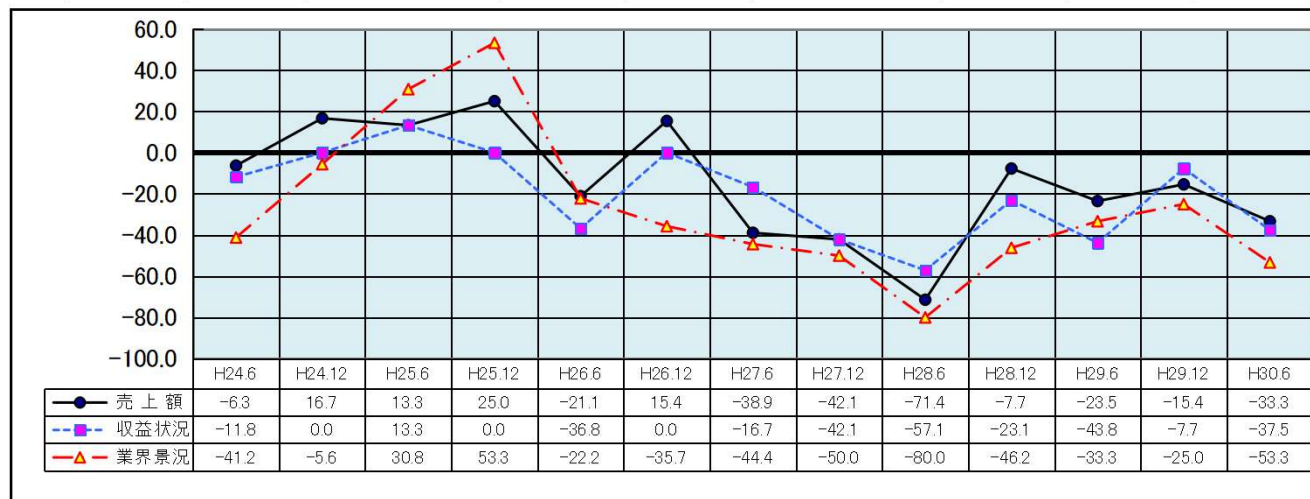


県内の生産は、緩やかに持ち直しているが、市内の生産額、収益状況、業界景況は前回調査を下回った。生産額は3.1で、増加9社（28.1%）、同じ15社（46.9%）、減少8社（25.0%）、収益状況は6.3で、良い9社（28.1%）、同じ16社（50.0%）、悪い7社（21.9%）、業界景況は3.0で、上昇傾向6社（18.2%）、同じ22社（66.7%）、低下傾向5社（15.1%）となっており、平成28年6月以来4期ぶりにマイナスに転じた。

【建設業】

< 配布 40企業 回収 16企業 回答率 40.0% >

売上額	今回調査	前回調査	前年6月	収益状況	今回調査	前回調査	前年6月	業界景況	今回調査	前回調査	前年6月
	-33.3	-15.4	-23.5		-37.5	-7.7	-43.8		-53.3	-25.0	-33.3
	比較	-17.9	-9.8		比較	-29.8	6.3		比較	-28.3	-20.0

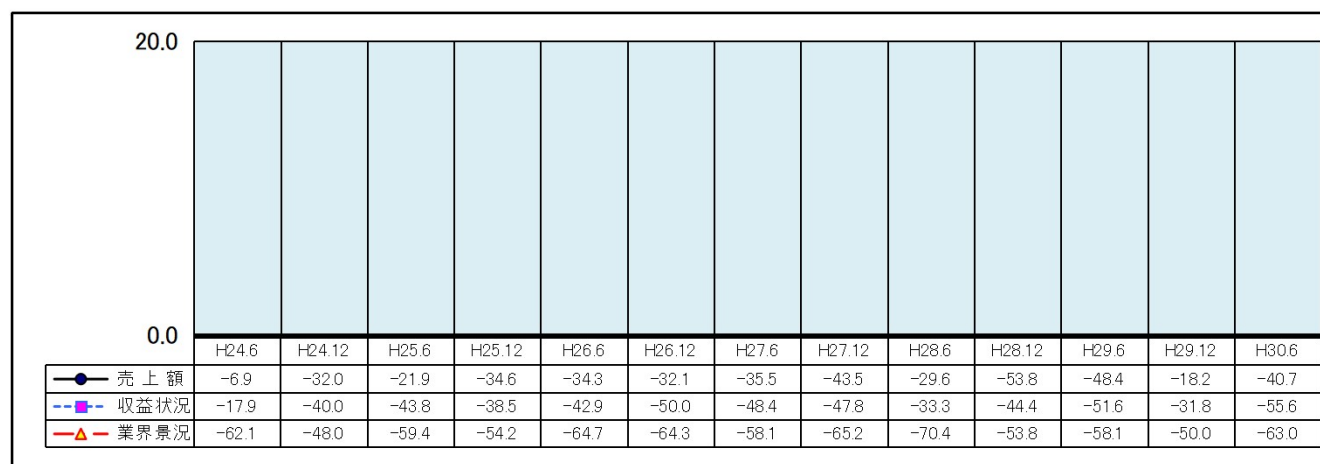


売上額、収益状況、業界景況ともに前回を下回っている。売上額は増加1社（6.7%）、同じ8社（53.3%）、減少6社（40.0%）、収益状況は良い1社（6.2%）、同じ8社（50.0%）、悪い7社（43.8%）、業界景況は上昇傾向0社、同じ7社（46.7%）、低下傾向8社（53.3%）となっており、依然として厳しい状況が続いている。

【小売業】

< 配布 70企業 回収 27企業 回答率 38.6% >

売上額	今回調査	前回調査	前年6月	収益状況	今回調査	前回調査	前年6月	業界景況	今回調査	前回調査	前年6月
	-40.7	-18.2	-48.4		-55.6	-31.8	-51.6		-63.0	-50.0	-58.1
	比較	-22.5	7.7		比較	-23.8	-4.0		比較	-13.0	-4.9

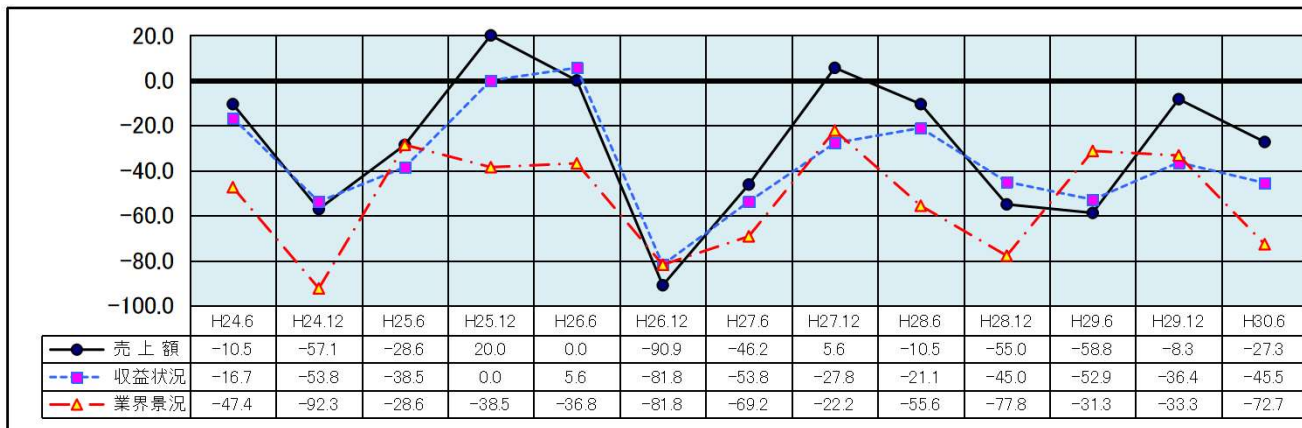


県内の個人消費は緩やかに回復しつつあるが、市内の小売業は売上額、収益状況、業界景況ともに前回を下回っている。売上額は増加2社（7.4%）、同じ12社（44.5%）、減少13社（48.1%）、収益状況は良い0社、同じ12社（44.4%）、悪い15社（55.6%）、業界景況は上昇傾向0社、同じ10社（37.0%）、低下傾向17社（63.0%）となっており、収益状況についてはここ6年間は一番低い数値となっている。仕入値の上昇などにより価格に転嫁できない事業所が多く、依然として厳しい状況にあることが伺える。

【宿泊施設業】

< 配布 40企業 回収 12企業 回答率 30.0% >

売上額	今回調査	前回調査	前年6月	収益状況	今回調査	前回調査	前年6月	業界景況	今回調査	前回調査	前年6月
	-27.3	-8.3	-58.8		-45.5	-36.4	-52.9		-72.7	-33.3	-31.3
	比較	-19.0	31.5		比較	-9.1	7.4		比較	-39.4	-41.4



県内の旅行取扱の状況は、国内、海外とも持ち直しているが、市内の宿泊施設業は売上額、収益状況、業界景況ともに前回調査を下回っており、依然として厳しい状況が続いている。売上額は増加2社（18.2%）、同じ4社（36.4%）、減少5社（45.4%）、収益状況は良い1社（9.1%）、同じ4社（36.4%）、悪い6社（54.5%）、業界景況は上昇傾向0社、同じ3社（27.3%）、低下傾向8社（72.7%）となっており、特に業界景況において悪化幅が大きい。